

今回の特別講座にあたって

2011年3月11日に東日本で巨大な地震が起こり、たいへん大きな被害が発生しました。被害に遭われた多くの方々にお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた多くの方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

今回の地震の被害は、阪神淡路大震災と大きく異なる点がいくつかあると思われる。

まずは被害の規模です。被害者・犠牲者の数はもちろんのこと、復興にかかる費用も2倍くらいではないかと言われています。

次に、震源が海で起きたために建物の倒壊よりも、津波による被害の方が大きかった点が挙げられます。これにより避難などの情報の伝達が、的確かつ迅速に行われなければならないことを再認識させられました。

3つ目は、原発の問題です。物理的な危険もさることながら、国際的な風評被害の広まりはこれまでの地震になかった被害です。

4つ目は、原発に伴う電力不足です。これが長引くと経済活動そのものが停滞してしまい、ひいては東日本の復興そのものを遅らせる原因となってしまいます。

5つ目は、日本が誇っていた「ジャストインタイム」の脆弱性が明らかになったことです。今回の地震で当地方にある多くの工場が被災しました。これまで日本の生産の優位性は在庫を持たないことによって保たれていた側面がありました。しかし、その結果、被災した工場での生産が再開されるまでの在庫を各社が持っておらず、被災していない多くの企業の生産活動まで止めてしまっていることが大きな問題となっています。

以上から今回、私どもは次のように考えました。

1. 改めて自分たちの防災意識を高めると共に、具体的な取り組みを行わなければならない。
2. 災害に直面してもその被害を最小限に抑え、なるべく早く通常的生活・業務に復帰できるよう備えなくてはならない。

このように考えた際、自分たちだけでなく、より多くの人がある取り組みを行うことによって初めて社会全体が災害に強くなるのではないかと思います。

現在、多くの人パソコンを利用しています。大変便利なモノであると同時に、まだまだその能力を使い切れていない人も多くいらっしゃると感じております。少しでも知識をつけていただき、防災に役立てていただく一助となれば幸いです。

至らない点も多々あるとは存じますが、今回は震災後なるべく早く本講座を開くことに重点をおきました。不明瞭な点、ご不明な点などございましたらお気軽にご指摘・ご相談ください。

今回は、当教室特別講座にご参加いただき誠にありがとうございました。
今後ともよろしく申し上げます。

2011年4月6日
有限会社アクセス ユープラン 代表取締役 中溝一仁